



資料 2-1

公益社団法人 企業メセナ協議会

企業メセナの戦略

「Creative Archipelago (創造列島)」
が目指すもの

2016年10月21日

「創造列島」とは

企業メセナの飛躍に向けた中期戦略

(目標) すべての人が創造性を発揮する社会
をめざして

(方法) 文化への集中投資を促進

(重点項目)

1. クリエイティブ・コミュニティの形成
2. 文化的多様性社会の実現
3. 創造経済の推進

「Creative Archipelago (創造列島)」

(背景)

- ・文化振興における企業メセナの占める位置が、比較的大きい
(企業、企業財団のメセナ支出は年間800億円以上の水準⇒1,500億円目標)
- ・オリパラにおける企業メセナへの期待が大きい

企業メセナとは ＝文化への社会的投資

1. 投資の目的

芸術文化の振興

芸術文化振興を通じた社会創造

芸術文化振興による研究開発

2. 投資の受益者

芸術文化の担い手及び社会全体

投資者としての企業

3. 投資期間

中長期に継続

創造経済は、芸術文化を研究開発と位置付けている

1. 芸術文化はSOCIAL SOLUTION の情報源
⇔時代の精神、時代を先駆ける精神
2. 芸術文化はグローバル異文化の情報源

企業メセナの戦略化のために

1. 社有資源の棚卸
(文化施設、文化財、財団など)
 2. 投資先の悉皆調査と
ポートフォリオの作成
(どこにどれだけ投資するのか)
 3. プロジェクト・パートナーの選定
 4. 財団の設立、財団の強化
- コーディネートするメセナ協議会

クリエイティブ・コミュニティの形成 のために

1. 創造拠点開発とネットワーク
すべてのコミュニティに創造拠点
2. 郷土芸能・祭の復活、芸術祭の展開
新旧、分野を超えた結びつき
3. クリエイティブ Iターン・Uターンの促進

文化的多様性社会 (Creative Diversity) の実現のために

1. 多方向性による国際芸術祭の展開
2. 日本文化の輸出強化
「和三昧 (WAZANMAI)」の展開
3. グローバル視点による企業メセナの展開

創造経済推進のために

1. 研究開発としての芸術文化の位置づけ
2. 公益資本主義と財団の役割
3. コンパクト経済の拡大
地域社会の創造経済

企業メセナ協議会の役割(1) 【民間版アーツカウンシル】

創造遺産、創造資源、創造拠点の悉皆調査

- 地域固有の資源である、自然、歴史、伝統産業、まち並み、歴史的建造物、伝統文化、祭り、食、休眠施設、産業遺産などと、これらを活用する創造拠点、創造団体等の悉皆調査を実施する。
- コーディネート機能を飛躍させる。

企業メセナ協議会の役割(2)

寄付助成金制度の拡充

- 「2021芸術・文化による社会創造ファンド(2021Arts Fund)」の本格展開
＝目的別ファンドの展開
- 企業による財団の設立と拡充を促進
＝メセナ活動の公益性、継続性の保証
- GBFファンドの全国展開
＝防災への寄与(記憶と記録、アーカイブに注力)

企業メセナ協議会の機能連携(3)

メセナ活動の認定と顕彰

- ・ 優れた活動を認定する「This is MECENAT」により、活動の多様性広がりを可視化する。
- ・ 特に優れた活動を顕彰する「メセナ・アワード」により、先駆的独創的なモデルを提示する。

創造
列島
Creative
Archipelago